

令和2年11月17日に総務生活委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

調査事項

・第2次総社市総合計画後期基本計画について

～内容～

第2次総社市総合計画後期基本計画概案について調査するもの。

～質疑～

問： 計画の内容によっては本市だけでなく、広域連携が大切なものもあると思うがどうか。

答： 観光などについては、倉敷市や高梁川流域の市町村、岡山市と連携を図りながら一緒に取り組んでやっていきたいと思っている。

問： 意見聴取内容がまとめてあるが、この意見はどういった形で得たものか。

答： コロナ禍のため当初予定の懇談会は中止し、各種団体の代表者に対し、その団体の意見集約をお願いする形の書面アンケートで得たものである。

報告事項

・総社市国土強靱化地域計画について

～内容～

大規模自然災害の備えとして、災害が発生する前、平時からの備えとして強靱な地域社会を構築していくことについて報告を受けました。

～質疑～

問： 計画の中の主な推進施策に、防災協定の締結が多くある。協定は既にたくさん結んでいると思うが、まだまだ必要と考えているか。

答： 協定には二つあり、一つは同時被災しない遠い地域の自治体と結ぶもの、もう一つは民間との協定で、民間の持っている力を有事の際にお願いするものであり、今後も必要なものは進めていきたい。

・美袋駅前活性化事業について

～内容～

西仮設住宅解体に伴い、住宅の利活用及び復興のシンボルとして、住宅1棟を美袋駅前に移設し移動販売の拠点及び地域主体で運営する地域活性化拠点施設として活用することについて報告を受けました。

～質疑～

問：買物に困っている方がたくさんいるが、施設には何社ぐらいが来てくれるのか。

答：生鮮物や魚関係の業者 1 社を始め、地区内外から、最低限 3 社ないし 4 社を計画している。

問：仮設住宅を移設し利用するが、施設の外観はどのようなものか。また、この施設の管理運営はどのように行うのか。

答：施設のデザインやレイアウトなどはこれから考えるが、美袋駅舎とマッチングするものにしたい。地域主体の管理運営団体を作り、地域住民による自主運営で販売も行ってもらう予定である。